

評価センター広報



評価センター・総務企画課評価室 スタッフ紹介

<評価センター>

センター長 西田 眞 副学長（評価担当）・工学資源学研究科教授
副センター長 辻 高明 専任教員 准教授

<総務企画課評価室>

室長 小川 輝芳
主査 池田 昌子 石黒 潤
事務職員 山谷 眞貴子 佐藤 寛子 佐藤 玲子

平成25年度実施大学機関別認証評価等の評価結果について

平成25年度に受審した大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価（選択評価事項B 地域貢献活動の状況）について、独立行政法人大学評価・学位授与機構より平成26年3月26日に以下の評価結果を受領しました。

【大学機関別認証評価】「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている。」

【大学機関別選択評価】「目的の達成状況が極めて良好である。」

大学機関別認証評価は、大学評価・学位授与機構が示す10の基準をすべて満たしている場合に、大学全体で同機構が定める基準を満たしているとして、上記評価結果が示されます。1つでも基準を満たしていない場合には、「大学評価基準を満たしていない」と判断されます。

大学機関別選択評価は、「目的の達成状況が極めて良好である」「目的の達成状況が良好である」「目的の達成状況がおおむね良好である」「目的の達成状況が不十分である」の4段階で判定されます。

評価報告書は大学ホームページ (http://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/in_check.html) に掲載しております。各部局におかれましては、この評価結果を教育研究活動の改善に活用くださいますようお願いいたします。

なお、機構より送付された認定証は学長室に掲額しております。そのコピーを大学本部玄関にも掲額しましたのでご覧ください。

国立大学法人秋田大学の中期目標・中期計画及び平成26年度年度計画について

中期目標・中期計画及び年度計画に関する下記の事項について、大学ホームページ (http://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/in_target.html) に掲載しておりますのでお知らせします。

- ・「国立大学法人の達成すべき業務運営に関する目標（中期目標）」
(平成26年3月25日 文部科学大臣提示)
- ・「国立大学法人秋田大学の中期目標を達成するための計画（中期計画）」
(平成26年3月31日 文部科学大臣変更認可)
- ・「中期目標・中期計画一覧表」(平成26年3月31日現在)
- ・「国立大学法人秋田大学 平成26年度の業務運営に関する計画（年度計画）」
(平成26年3月31日 届出)

平成26年度評価センターの活動について

1. 認証評価等に関する事項
 - 1) 認証評価を通して明らかになった点や評価結果等を踏まえ、評価から改善に繋げるための取組を行う。
2. 中期目標・中期計画関係
 - 1) 評価センターが担当する平成26年度年度計画を実施する。
*中期計画【59】「各部局で収集・公表しているデータ・情報を整理、蓄積し、そのデータ分析を大学運営の改善に活用する」
 - 2) 平成25事業年度実績報告書の作成及び提出を行う。
 - 3) 平成26年度年度計画の進捗状況の確認と実績報告書の取りまとめを行う。
 - 4) 平成27年度年度計画作成のため、学内の連絡調整及び支援を行う。
3. 広報活動
 - 1) センター年報・研究紀要を発行する。(26年度末)
 - 2) センター広報を発行し、大学評価に関わる各種情報を提供する。(随時)
4. FDシンポジウムの開催
 - 1) 評価センター主催のFDシンポジウムを開催する。
5. その他
 - 1) 上記以外の評価センター関連業務を行う。

第13回評価センターFD・SDシンポジウムを開催しました

平成26年3月18日に「評価でアピールできる教育実践を考える」をテーマにした評価センターFD/SDシンポジウムを開催しました。大学評価で近年重視される「教育の内部質保証システム」の構築では、しばしばPDCAサイクルとして表現されるように、問題点を発見し、それを改善することが求められます。しかし、問題点にばかり目を向けるのではなく、新規性のある実践や発展性のある実践を発見し、構成員の間で共有することで、教育の質を向上させていくことも重要です。

今回のFD/SDシンポジウムでは、問題解決型学習、学生参加型授業、コミュニケーション能力の強化など、近年の大学教育改革で重要視される事柄に関する教育実践を進めている学内の教員が話題提供をし、その後フロアと意見交換を行いました。

具体的には、教育文化学部教科教育学講座の佐々木雅子教授から「フィールドインターンシップを活用した発見的問題解決学習」、教育文化学部発達教育講座の神居隆教授から「現職教員と共に学ぶ模擬体験による学生参加型授業」、評価センターの辻高明副センター長から「学生と共にコミュニケーションの場を創造する」というタイトルでそれぞれ話題提供を行い、その後全体討論という流れで進行しました。



登壇者による話題提供の様子



全体討論の様子

全体討論では、今年度本学は認証評価を受審したこともあり、認証評価の自己評価書の内容を踏まえた意見交換、さらに、本学の「優れた点」や「改善を要する点」と関連させた議論も多数見られ、さらに続編を望む声も挙がるなど、本シンポジウムは盛況のうちに終了しました。

広報へのご意見などは評価センターへ

TEL: 018-889-2206 (総務企画課評価室) / FAX: 018-889-2939 / E-mail: sokikaku@jimu.akita-u.ac.jp